

# はじめに

## はじめに

### 1. トヨタ コロナ マークII フル モデル チェンジのねらい

トヨタ コロナ マークIIのフル モデル チェンジにあたりましては、マークIIのハイグレード パーソナル カーとしての伝統と、多様化するユーザー要求を十分に検討し、豪華で、落ちついた、高品質感のある車を追求し、次の点を開発のねらいとしました。

- 伝統美の中にも、新しい感覚のスタイル
- より豪華に、より幅広くユーザーに
- Big Inside, Small Outside
- 快適な車、使い易い車
- 高性能、高品質
- 安全（乗員保護と車両保護）

#### 〔1〕 伝統美の中にも、新しい感覚のスタイル

- ① 直線的で軽快なヨーロッパ調のスタイルとしました。
- ② 従来に比べフードを20~35mm、ベルト ラインを約10mm低くしました。
- ③ セダン系にはクォータ ウインドを新設し、従来に比べガラス面積を約13%広く取り明るい室内としました。

ハード トップ系のガラス面積は従来に比べ約16%広くなっています。

- ④ セダン系には角形4灯式ヘッド ランプを、ハード トップ系には異形2灯式ヘッド ランプを新採用しました。
- ⑤ 低い、軽快なインストルメント パネルを採用し、メータ類の照明には見やすい、指針照明式メータを新採用しました。

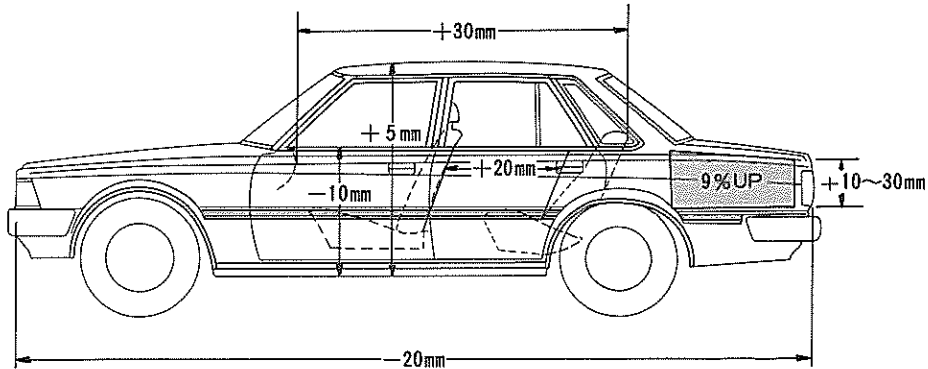
#### 〔2〕 より豪華に、より幅広くユーザーに

- ① 従来の2ドア ハード トップに代わりセダンのユーティリティとハード トップの軽快さを備えた4ドア ハード トップを新登場させました。
- ② シートの材質、パターンを変更しより豪華なものとししました。
- ③ 録音機付ステレオ、電子同調式ラジオ、グラフィック イコライザ等の高性能オーディオ システムを新採用しました。
- ④ アルミ ホイール、樹脂製ホイール キャップ（グランデ仕様）を採用しました。

## はじめに

### 〔3〕 Big Outside, Small Inside

- ① ボデー サイズを押えながら、室内スペースをさらに広く取りました。
- ② ラッゲージ ルームの深さを10~30mm深くし、容積を9%増しました。



旧型との対比

J0789

### 〔4〕 高性能、高品質

- ① マイクロ コンピュータ制御方式を採用した5M-EUエンジンを新採用しました。
- ② 6気筒で 抜群の軽量化を実現した高性能エンジン (1G-EU) を採用しました。
- ③ 18R-GEUエンジンを復活し、GT仕様車に搭載しました。
- ④ 冷却性に優れたベンチレイディット ディスク ブレーキを採用しました。
- ⑤ 空力特性を改良し走行抵抗を減少させると同時に風切り音を減少しました。
- ⑥ 新型マニュアル トランスミッション (W45, W55型) を新採用しました。

### 〔5〕 快適な車、使い易い車

- ① フロント シートのクッション性、ホールド性を改良しました。
- ② グランデ仕様にスライド式リヤ シートを採用しました。
- ③ 角型レジスタ、専用サイド デフロスタを採用しました。
- ④ セダン系のGT, LGツーリング、グランデ (2000ccのみ) 仕様車に電動式サン ルーフをオプション設定しました。
- ⑤ クルーズ コンピュータをグランデ仕様にオプション設定しました。
- ⑥ 合成音声を使用したスピーク モニタをMX63系に標準設定しました。

### 〔6〕 乗員保護、車両保護

- ① スライド式インナ アンカ付フロント シートベルトを採用し操作性を向上しました。
- ② 車両内外部の突起を少なくし、安全性を高めました。
- ③ グランデ仕様に前後調整式ヘッド レストを新採用しました。
- ④ 大型ウレタン バンパをGL仕様以上に標準設定しました。

# はじめに

## 自動車の54年騒音規制について

自動車の54年騒音規制は、昭和53年1月30日の環境庁告示第4号、自動車騒音の許容限度にもとづき、53年運輸省令第5号により、道路運送車両の保安基準の改正で施行に移されたものです。

### (1) 54年規制の内容

#### ① 規制値および対象自動車

自動車の種類		定常・排気騒音(ホン)	加速騒音(ホン)	
			54年規制	現行値
ト バ ラ ツ ク ス	車両総重量3.5トン以上、最高出力200馬力以上	80	86	89
	〃 最高出力200馬力以下	78	86	87
	車両総重量3.5トン以下	74	81	83
乗用車		70	81	82

#### ② 適用時期

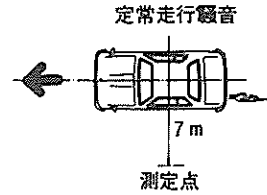
新型車 { ガソリン・LPG車…………… 昭和54年1月1日以降ライン オフ車両  
           { デイゼル車…………… 昭和54年4月1日以降ライン オフ車両  
 新造車(継続生産車) { ガソリン・LPG車 昭和54年9月1日以降ライン オフ車両  
                           (乗用車)  
                           { トラック・バス………… 昭和54年12月1日以降ライン オフ車両  
                           { デイゼル車…………… 昭和55年3月1日以降ライン オフ車両  
                           ただし輸入車…………… 昭和56年4月1日以降ライン オフ車両

# はじめに

## (2) 自動車騒音の測定方法

### ① 定常（定速）走行騒音

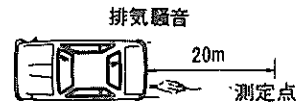
平たんな舗装路面を原動機の最高出力時の回転数の60%の回転数で走行した場合の速度（その速度が35km/hをこえる自動車は35km/h）で走行し、走行方向に直角に車両中心線から、左側へ7 m離れ地上高1.2 mの位置における騒音の大きさを測定します。



この場合、当刻速度で通常使用される変速段を使用します。

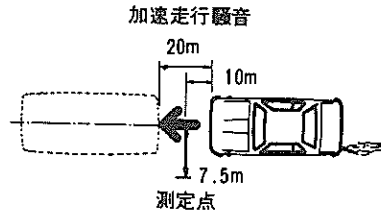
### ② 排気騒音

原動機が、最高出力時の回転数の60%の回転数で無負荷運転されている場合に、排気管の開口部から後方へ20 m離れ地上高1.2 mの位置における騒音の大きさを測定します。



### ③ 加速走行騒音

平たんな舗装路面を、原動機の最高出力時の回転数の75%の回転数で走行した場合の速度（その速度が50km/hをこえる自動車は50km/h）で進行し、20 mの区間を加速ペダルを一杯に踏み込み加速した状態で走行する場合に、その中間地点において走行方向に直角に車両中心線から、左側へ7.5 m離れ地上高1.2 mの位置における騒音の大きさを測定します。



T8869

この場合3～4速トランスミッションでは2速を、5速トランスミッションでは3速を使用します。

## (3) 主要車種騒音一覧表

車種		E-TX60	K-LX60	E-RX60	E-RX63	E-GX60	E-MX63
騒音 (ホン)	定常	65	66	63	65	65	64
	排気	61	63	60	63	60	59
	加速	76	76	75	78	74	75